

問題【国語】

次の文は童謡「待ちぼうけ」の歌詞の一部です。この童謡のもととなった故事成語とその意味を答えなさい。

待ちぼうけ、待ちぼうけ
ある日せつせと、野良稼ぎ
そこに^{うさぎ}兔がとんで出て
ころりころげた 木の根っこ

豆知識 雑学コラム

故事成語が童謡に

今日は童謡からの出題です。童謡は子供向けに作られた歌であるため、子供たちに知ってほしいメッセージを含んだものも多くあります。特に今回選んだ「待ちぼうけ」は中国の古い話がもとにできた教訓である「故事成語」から生まれた歌です。どのような教訓が入っているか見ていきましょう。

「待ちぼうけ」の歌詞の内容を要約すると次の通りです。ある日、ある農民が畑を耕していると、ウサギが木の切り株にぶつかって、倒れるところを見ました。こうして、ウサギを簡単に手に入れられたことでその農民は、「切り株の前で待っていれば、またウサギを捕まえることができる」と考えて、切り株の前でウサギが来るのを待つことにしました。しかし、いつまで待ってもウサギが来ることはなく、仕事もせずに切り株を見ている農民の畑は荒地になってしまいました。この話は「守株（切り株を見守る）」という故事成語が元になっています。

では、この話の教訓は何でしょうか。「楽して稼ぐことはできない」と思う人もいるかもしれませんが、確かにそうした教訓を学ぶこともできるのですが、もともとの作者が意図した教訓は違うところにあります。この話に続いて、もとの話では「今、先王の政を以って、当世の民を治めんと欲するは、皆株を守るの類なり。」と続き、「今、昔の王様がしてきた政治のやり方で、現在の国民を治めようとするのは、この『守株』のようなものだ。」と述べられています。つまり、「前にうまくいったやり方を変えずに、繰り返しやってもうまくいかない。今の時代に合ったことをするべき」というのがこの話の教訓と言えます。漢文には、このように話の最後に必ず教訓が出てきます。しっかり、どんな教訓なのか掴むようにしましょう。

コロナ禍の中で「ソーシャルディスタンス」や「新しい生活様式」など、急激な生活習慣の変化が求められています。今までのやり方にこだわって「守株」な人だと思われたいようにしたいものですね。

【解答】

守株待兔

『守株待兔』の故事成語は、『守株待兔』の故事成語から由来している。早稲科